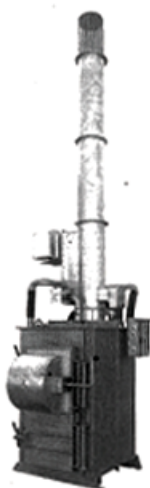


# DAITO 2019NEW環境展に 焼却炉を実機展示

【瀬戸】焼却炉メーカー、DAITO(本  
社=愛知県瀬戸市、井  
上滋樹社長)は、3月  
12日から4日間にあわ

つて東京都江東区の東  
京ビッグサイトで開催  
予定の「2019NEW  
W環境展」にブースを  
出展する。廃プラスチック



廃プラスチック焼却炉SPZ-400

チック対応焼却炉(大型  
投入口モデル)である  
「SPZシリーズ」と  
万能焼却炉「SPH  
シリーズ」の実機をそ  
れぞれ展示し、来場者  
に向けて広く訴えてい  
く方針だ。

同社では2017年  
から両シリーズの販売  
を開始。近年、中国へ  
の輸出が禁止され、国  
内処理量が拡大傾向に  
ある廃プラスチックの  
焼却処理などで活用が  
期待できる。従来機と  
比較して燃焼用エア  
の最適化と消煙・集じん  
能力を大幅改善。こ  
れにより周辺環境に配  
慮しながら、廃プラ  
チックの焼却処理を行  
うことができる。

焼却炉の構造に關す  
るすべての法規制に適  
合。そのため各種届出  
が不要な上、構造基準  
適合保証の対象になっ  
ている。税制優遇の適  
用も可能だ。

同社では鉄・非鉄金  
属リサイクル業者や産  
業廃棄物処理業者など  
に向けて、廃プラステ  
チックの効率的な処理方  
法として焼却炉のアピ  
ールを行っていく方針。  
また、新製品として  
湿った廃棄物を廃プラ  
スチックと一緒に焼却  
することで燃料費の削  
減ができる乾湿両用焼  
却炉「YGRモデル」  
の紹介も行う。

なお、同社のブース  
は屋外実演会場・東6  
番ゲート近くの「外4  
02」にある。